

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成 21 年 5 月 25 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3471502256
法人名	有限会社 松永メディコ
事業所名	グループホーム 敬愛
所在地	広島県福山市松永町5丁目9-11 (電話) 084-930-0303

評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4丁目46-9
訪問調査日	平成21年5月21日

## 【情報提供票より】( 21年 4月 26日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 6月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17人 常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算 16人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷 金	有 ( 円 )	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 18,000円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,170円	

### (4) 利用者の概要( 4月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	5 名		
要介護5	8 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.3 歳	最低	68 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤脳神経外科 かやの歯科
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム敬愛は、住宅街に位置し、付近には、はきもの博物館やお寺があり、静かな環境にあります。また近隣には、同グループの脳神経外科やデイサービスや軽費老人施設や居宅介護事業所などがあります。開設以来の長期の入居者が殆どで、加齢による病状の重度化が進んでいる現状の中、看護師であるホーム長を中心にして「寄り添う介護」に重点を置き穏やかな日々を過ごされています。今後も地域に根付いた事業所として地域の一役が担える施設としての役割が期待されます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	年々入居者の加齢による症状の重度化で地域への働きかけが困難とのこと。地域包括支援センターや近隣の同系列の施設などと協力し、工夫され、地域に根差した地域密着型のサービス施設であることを期待する。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の評価の取り組みは、評価の意義を理解し、外部評価についても今後の運営の改善に取り入れる体制であった。ミーティング時に話し合い、入居者がより安心して生活できるように努力されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を行なっていないとのこと。地域包括支援センターや市の介護関係の職員や地域の方や消防関係等の参加を求められて意見の交換をされることを望む。事業所として地域と協働で行う活動などのつながりをより期待される。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	日頃から意見、不満、苦情を言いやすい関係づくりを目指し、努力されている。出された意見、要望等は、話し合い、サービスの向上へと反映させている。各階に意見箱を置くなど、意見箱の活用を期待する。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域での行事などに利用者とともに参加している。1階デイサービスの行事(ミニコンサート、日舞、もちつきなど)に参加し、地域のボランティアの方が協力して下さる機会もある。近隣にある協力医の佐藤脳神経外科の行事(もちつき、花火、バーベキューなど)では、軽費老人ホームとも交流がある。近隣からも多くの参加者を得ている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いつまでも、自分らしく生活できるようにやすらぎと信頼のある介護サービスを提供します。ともに笑い、ともに泣き、楽しく明るく暮らしていただけるようお手伝いさせていただきます。」を理念としている。		パンフレットに掲載されているが、施設入口や共有部に理念の明確な表示を掲示されることを望む。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りなど個々の利用者に対して寄り添った介護の引き継ぎやミーティング等も行われているが、明確な言葉での理念の共有は図られていない。		ミーティング等で理念を掘り下げて、職員全体で話し合い、日々の具体的なケアにつなげていく取り組みを望む。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会長が毎年変わることもあるが、積極的に地域での行事などに利用者とともに参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティング時に話し合い、入居者がより安心して生活できるように努力されている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年は、看護師が一人やめた中、入居者の入退院が多く、忙しく運営推進会議を行なえていないとのこと。		地域包括支援センターや市の介護関係の職員や地域の方や消防関係等の参加を求められて意見の交換をされることを望む。

グループホーム 敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の説明会に出席されている程度である。		市の担当者との会話を積極的に求められ、ホームでのサービスの質の向上に取り組まれることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族への報告は、月に1回書面での報告をしている。何らかの変化があった時は、その都度状況に応じ、対応されている。多い方は、毎日、また1週間に2、3回訪問して下さる。その他の方は、家族参加の行事の時にしっかりコミュニケーションをとっておられる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から意見、不満、苦情を言いやすい関係づくりを目指し、努力されている。		各階に意見箱を置くなど、意見箱の活用を期待する。
9	18	職員の異動等による影響の配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎の職員の配置でなく全職員が両方のユニットに馴染みになる職員配置である為、信頼関係が作られている。異動によるデメリットについて管理者・職員は、よく理解されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月1回行われるミーティングで統一した指導を行い、研修への参加者よりの情報提供や職員よりの意見を取り上げながらレベルアップに努めている。		研修の情報など職員に知らせてはあるが、研修への参加が休日を利用しての参加になる事もあり、研修の機会を失うこともある
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現況では交流は行われていない。		職員の希望の声もあり、他のグループホームと情報交換したり、職員による施設間交流も進んでいくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入所は行われていない。入所当初には家族の面会を頻繁にしてもらうように要望し、話し合いや連絡を密にされている。</p>		
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>年々重度化で寄り添う介護に重点を置くようになっていくが、声掛けは頻繁にするように心がけている。利用者の持つおられる知識や能力は尊いものとして常に尊敬と敬意の念を持って、同じ時間を共有し、支えあう関係づくりを意識されている。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意志の疎通が困難な場合は、本人はどうかという視点に立って、意見を出し合い、話し合っていく取り組みがなされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族には、日々のかかわりの中で、思いや意見を聞き、家族と話し合い、ミーティングで検討して計画に反映できるようにしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、6カ月毎の見直しができるよう努めている。期間にとらわれず変化に応じて本人、家族、関係者と話し合い、臨機応変に見直ししていく姿勢が見られる。</p>		

グループホーム 敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階にあるデイサービスの行事(ミニコンサート、日舞、もちつきなど)に参加したり、近隣にある軽費老人ホームとも交流がある。ドライブや買い物の支援はデイサービスの空く日曜日に車を利用したりしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者のかかりつけ医は隣接する脳神経外科であり、定期的を受診または、重度者には往診がされ、投薬、その他の指示がされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対するあり方について、家族と話し合いを行っている。日常の受診や往診でホームでの対応が不可能と認められる場合は、全面的に母体病院で受け入れる体制が、取られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報、万全な保管をこころがけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりとした時間の中、広々としたリビングで各自の居場所を決めて座り、職員との会話を楽しまれている。		

グループホーム 敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は炊飯のみが各ユニットで、副食は近隣にある法人内の厨房で作られ、入居者同伴で職員が受け取りに出かける。重度の方には、ミキサー食、刻み食、胃ろう食など個別に対応している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	軽度入居者は、1週間に2回の頻度で希望する時間に入浴を楽しんでいるが、夜はしていない。重度の方に対しては、日曜日1階のデイサービス用の機械浴槽で対応している為、他の曜日は、清拭を行っている。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的には洗濯物のたたみ、厨房への受取等声かけで行われている。法人全体で催される花見やお祭りには全員で参加されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	重度化で車いすの方が殆どで、日中車いすで一人の職員が対応することで室内の見守りが手薄となり、外出頻度を少なくなっている。		外出を希望する人が殆どないということを伺ったが、日々の声掛けの中で、居室からでる機会が少しでも増えることを期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが2階3階に位置しているため、職員同伴でエレベーター並びに玄関は開かれる。1階のドアはデイサービスと共用であるから、安全のために施錠されている		施設が2階、3階に位置しているため、外に開かれた状況を作るのは困難であるが、職員と同伴する外出の機会が多く作られることを期待する。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行っている。内一回は消防署立会である。もう一回は入居者を交えて避難の実施を行っている。		

グループホーム 敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりが一日全体で栄養や飲水量がどの程度とれているか、日々の記録表で食事量や水分摂取量の集計をし、把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間であるリビングはゆったりと広く、採光もよい。開放感のある雰囲気が作られている。		重度化が進み、各居室で過ごされる方が多い。広いリビングの利用方法を外出の少ない入居者に季節感のある楽しみの場所を提供される工夫が望まれる。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の個室はテレビや冷蔵庫が置かれている部屋もあり、自分らしい生活空間が作られている。仏壇や位牌を置いておられる方もいる。		